

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神作業療法評価学演習		必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
池谷 政直 他	C311	ot_ikeya	木曜日 13:00~14:30		
授業の目的・概要	精神機能作業療法において対象者と対象者を取り巻く環境の全体像を把握するための評価を実施できるよう、基本的知識・技術・態度について学修することが本演習の目的である。観察・面接評価および各種検査の方法を学生同士で実施し、必要な技術の修得を目指す。また事例基盤型学習を通して事例に対する評価計画の立案・評価を実施し、全体像を把握するまでの流れを体験する。本科目は2コマ連続の計30回の授業で実施する。板書や視聴覚教材による講義を実施する他、Microsoft Teams を利用して学習の振り返りを行う。				
学習上の助言	精神医学・作業療法評価学において学修した内容を十分に理解した上で講義・演習を受けることが望ましい。授業は演習が中心となるため、事前に教科書を読むなど予習をしておくこと。				
教科書	標準作業療法学 作業療法評価学 第3版/編：能登真一、山口昇、玉垣努、他/医学書院/2017 生活を支援する 精神障害作業療法 第2版/編：香山明美、小林正義、鶴見龍彦/医歯薬出版/2014 (2冊指定)				
参考書	必要に応じてプリントを配布する				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	対象者とその環境に対する評価の意義を説明することができる			OT (2)、(3)	
②	対象者とその環境に対する評価の計画を立てることができる			OT (2)、(3)	
③	評価の方法を理解し、適切に実施することができる			OT (2)、(3)	
④	評価の結果を記録し、適切にまとめることができる			OT (2)、(3)	
⑤	援助者としての自己の特性について気づきをもち評価への留意点とすることができる			OT (1)、(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	精神機能作業療法における評価の概要について学ぶ 情報収集と面接について学ぶ [担当:池谷 政直]	講義・演習	[事前学習] 作業療法評価学の配布資料を用いた復習 [事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
2	評価における留意点とするための、自己の特性とその影響について学ぶ [担当:池谷 政直]	講義・演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
3	精神症状の評価、薬原性錐体外路症状の評価について [担当:池谷 政直]	講義	[事前学習] 教科書(作業療法評価学第3版) P491-492 (2. 精神症状評価尺度) を精読する [事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
4	精神症状の評価、薬原性錐体外路症状の評価について [担当:池谷 政直]	演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
5	社会生活機能評価について (GAF、LASMI、Rehab 等) [担当:池谷 政直]	講義	[事前学習] 教科書(作業療法評価学第3版) P487-489 (③ GAF まで) を精読する [事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
6	社会生活機能評価について (GAF、LASMI、Rehab 等) [担当:池谷 政直]	演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
7	認知機能評価尺度について (BACS-J、SCoRS-J 等) [担当:池谷 政直]	講義・演習	[事前学習] 教科書(精神障害作業療法第2版) P100-105 を精読する [事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
8	集団/対人交流技能について (コミュニケーションと交流技能評価) [担当:池谷 政直]	講義・演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
9	QOL・興味・役割の評価について (SF-36、NPI 興味チェックリスト、役割チェックリスト等) [担当:池谷 政直]	講義・演習	[事前学習] 教科書(作業療法評価学第3版) P241-255 を精読する [事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
10	家族・社会的環境の評価について (生活機能に影響する背景因子を理解する) [担当:池谷 政直]	講義・演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認	1	
11	質問紙を用いた面接について学ぶ (ISDA、SMSF、生活形態の評価) [担当:池谷 政直]	講義	[事前学習] 教科書(精神障害作業療法第2版) P90-99、P188-196 を精読する	1	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間 (時間)
12	質問紙を用いた面接について学ぶ (ISDA、SMSF、生活形態の評価) [担当:池谷 政直]	演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認 1
13	作業をもちいた面接について学ぶ (構成的作業面接:箱づくり法を題材に) [担当:池谷 政直]	講義・演習	[事前学習] 教科書 (作業療法評価学第 3 版) P481 を精読する 1
14	作業をもちいた面接について学ぶ (投影的作業面接:絵画を題材に) [担当:池谷 政直]	演習・演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認 1
15	作業に関する自己評価 (OSA-II) について学ぶ [担当:池谷 政直]	講義・演習	[事前学習] 教員が配布した資料の指定された箇所を精読する 1
16	カナダ作業遂行測定 (COPM) について学ぶ [担当:池谷 政直]	講義・演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認 1
17	精神障害者ケアアセスメント (日本作業療法士協会版) について学ぶ [担当:池谷 政直]	講義	[事前学習] 教員が配布した資料の指定された箇所を精読する 1
18	精神障害者ケアアセスメント (日本作業療法士協会版) について学ぶ [担当:池谷 政直]	演習	[事後学習] 授業資料を用いた復習、Teams の課題を用いた理解度の確認 1
19	事例基盤型学習① (疾患の特徴、事例の特徴についてグループで話し合う) [担当:池谷 政直]	演習・GW	[事前学習] グループワークに必要な事前学習・事後学習 (準備を含めて) を各自で行う [事後学習] グループワークに必要な事前学習・事後学習 (準備を含めて) を各自で行う
20	事例基盤型学習② (必要な評価項目を列挙し、その評価の意義をグループで話し合う) [担当:池谷 政直]	演習・GW	
21	事例基盤型学習③ (評価計画をグループで話し合う) [担当:池谷 政直]	演習・GW	
22	事例基盤型学習④ (評価計画をグループで話し合う) [担当:池谷 政直]	演習・GW	
23	事例基盤型学習⑤ (発表:計画した評価を模擬患者に実践する) [担当:池谷 政直]	演習・GW	
24	事例基盤型学習⑥ (発表:計画した評価を模擬患者に実践する)、事例の解説 [担当:池谷 政直]	演習・GW	
25	高齢期の精神的・心理的特徴に関連した評価について [担当:中西 康祐]	講義	[事前学習] 教員が指定した資料の該当箇所を精読する 1
26	高齢期の精神的・心理的特徴に関連した評価について [担当:中西 康祐]	演習	[事後学習] 配布資料のポイントを整理する 1
27	認知症重症度、行動症状等の評価について [担当:中西 康祐]	講義	[事前学習] 教員が指定した資料の該当箇所を精読する 1
28	認知症重症度、行動症状等の評価について [担当:中西 康祐]	演習	[事後学習] 配布資料のポイントを整理する 1
29	高齢期の ADL 関連の評価とその技法について [担当:中西 康祐]	講義	[事前学習] 教員が指定した資料の該当箇所を精読する 1
30	高齢期の ADL 関連の評価とその技法について [担当:中西 康祐]	演習	[事後学習] 評価表の語句と配布資料の使用方法を理解する 1
試	定期試験		

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		80	0	20	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	5	0	0	85
	思考・推論・創造する力	0	0	10	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	5	0	0	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科】

評価方法		行動目標		評価のポイント	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法
試験	①	✓		学期末に試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ教科書・配布資料・口頭での説明内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。試験は総合評価の 80%に換算する。		試験後に模範解答を提示し解説する。学生は教科書等を参照して要点を再確認する。
	②					
	③	✓				
	④					
	⑤					
	⑥					
レポート	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
成果発表	①	✓	第 19 回～24 回は提示された精神障害事例の情報をもとに、作業療法評価計画を作成し、模擬的に患者に作業療法評価を実施する。評価の意義や患者への関わりにおける留意点などを発表の中で説明できるかを評価する。 成果発表の成績は総合評価の 20%に換算する。成績評価は配布するルーブリックに基づいて行う。			授業でのディスカッションを通して適宜フィードバックを行う。
	②	✓				
	③	✓				
	④	✓				
	⑤	✓				
	⑥					
ポートフォリオ	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
その他	①					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
	⑥					
備 考						
<p>担当教員：◎池谷 政直、中西 康祐</p> <p>この科目は 2 時限連続、2 クラス開講の授業である。評価を学生同士で行うことで必要な知識・技術・態度の修得を目指すため、欠席等で迷惑のかからぬように各自体調管理等に留意すること。</p> <p>本科目は面接授業を実施するため、大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は面接授業の参加を認めない。</p> <p>なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢によっては再度シラバスを変更する可能性がある。</p> <p>教員の実務経験： 本科目を担当する教員は精神障害領域または老年期領域において作業療法士として 10 年以上の実務経験を有している。</p> <p>実践的授業の内容： 臨床における評価治療で得た知見に基づき、実際の評価バッテリーを用いて展開する。また患者の症候や状態を画像・動画などで紹介し、視覚的な学びの手法として学生の理解を促す。</p>						